

同窓会の これからのあり方に 発想の転換を

「H」

「たまには着飾っておしゃれをして、一流ホテルで、パーティーをするなど雰囲気を変えてみるのでもいいのではないのでしょうか・・・」

「O」同窓会は先輩・後輩の情報交換の場にしたいたい。」

「S」同窓会は、静商同窓生（先輩）への援助、就職窓口や相談窓口の役割があっても良いのでは。総会・懇親会の場合だけでなく、日常の中にも、そんな窓口があったら良い。」

「E」先輩の参考になる素晴らしい同窓生の情報が会報に載っているの、会報のパックナンバーを配布したらどうか？」

「I」同期会の集合体が同窓会だ。総会の日に、同期会を開催しますというような企画があってもいいのでは。」

「S」一人だけの参加は寂しいそう感じたら、その後は参加しない。一人参加や少数参加に、何らかの手立てを

「H」「今までにない、発想の転換が必要ですね。」

同窓会の 役割を見直そう

「O」同窓会本部と支部との関係は？会費の納入が重複する？本部の総会参加は制限がある」

「S」野球部やスポーツ部への応援・支援をしているが、文化部への支援をしたらどうか。文化部でも、関東で全国大会がある。今まで個人的に支援したことがある。」

「E」母校への支援も・・・」

「I」同好会の活動を、もっともって広げていきたいですね。総会にはどうしても参加できないが、同好会には気楽に参加し、仲間を作りたい。」

「S」ある若い世代と話したことがある。若い世代を対象とした『青年会』『女子会』（仮称）を発足したいということが話題になった。インターネットを通じて、意思疎通を図るという考え方



相川雅美 (S48 年卒) 広報部会

「H」

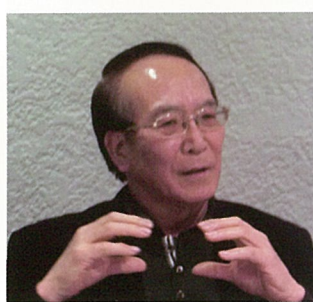
「名簿に登録することなく、自由で、何者にも束縛されない活動をしたいということであり、最近の若者はこんな考えもある。」

「O」そういう意味で、ホームページのみの活用だけでなく、新しい SNS (Mix・Facebook・Twitter) などにより、お互いに情報や意見交換を行う方法が考えられますね。それを誰がやってくれるかが課題ですがね。」

「S」ある若い世代と話したことがある。若い世代を対象とした『青年会』『女子会』（仮称）を発足したいということが話題になった。インターネットを通じて、意思疎通を図るという考え方

「I」同好会の活動を、もっともって広げていきたいですね。総会にはどうしても参加できないが、同好会には気楽に参加し、仲間を作りたい。」

「S」ある若い世代と話したことがある。若い世代を対象とした『青年会』『女子会』（仮称）を発足したいということが話題になった。インターネットを通じて、意思疎通を図るという考え方



鈴木一晴 (S38 年卒) 会計監査



平井幸雄 (S36 年卒) 広報部会

同期会活動報告



45 年ぶりの初会合 (1969 年 S44 年卒)

まだ無名の会 の野典子

S44 年卒の私たちの最大のアピールは、2 度甲子園に行ったことではないかと思えます。一年、三年の 2 回、しかも 3 年の時は、50 回記念大会の大阪興国との決勝戦まで進み、県予選から甲子園の決勝戦まで、長い夏を体験。最高に盛り上がった充実の高校生活でした。

そんな輝きを持った私たちは、2 年前の当番幹事をきっかけに、昨年 5 月 25 日関東在住の 10 人の仲間が初集合。同期会補助金の支援をいただき、KITE「菜々」で会食をした。赤レンガの東京駅舎を見学後、またの再会を約束して散会した。45 年前の静商時代にタイムスリップ。総会で先輩、後輩と肩組しながら「波メロデイ」を一緒に歌いたいなど思った楽しい一日でした。

S38 年関東会 卒業五〇年目の 一泊旅行

岡村 優

恒例の一泊旅行も 17 回を数え、平成 25 年 11 月 16 日 (土) 17 日 (日) に「かんぽの宿 海本館」で開催しました。今年は卒業 50 年の節目の年でもあり、過去最高の 45 名 (関東 17 名・静岡 28 名、男性 35 名・女性 10 名) の参加者でした。幹事室での事前懇談 (小宴会)・大宴会・二次会と大いに盛り上がりました。

宿にチェックイン後、大浴場で「名湯熱海の湯」をゆったり・たつぷり堪能し、幹事部屋で宴会までの間、蒲原・磯部君差し入れの「生桜エビ・生シラス」、焼津・稲森君の職人顔負けの「鰯の押しずし」清水・高田君の手作りの珍品「鮪・鮭・鶏、等の燻製」のおつまみで毎年恒例の事前懇談・小宴会で軽く一杯喉を潤しました。

本番の大宴会は、梶山君の司会により静岡・長島君の音頭での乾杯で始まりまし。余興では、松木君が「古稀近しのんびりゆったり人生を友の絆よ明日の糧とす」の歌を披露し、参加者全員の生年月日を一人ひとり言い当てていく。まさに驚きの記憶力。カラオケで皆大いに歌い、美味しいお料理をお腹一杯食べ、アルコールも浴びるほど飲み、昔話して話題は尽きない。大宴

会は大盛り上がりで時間切れ、締めはやっぱり応援団長杉本君による校歌斉唱とエールで終了となりました。

翌 17 日は、相模湾から昇ってきた真紅な朝日を見てから朝風呂に入り、ビールを飲みながらの朝食をいただく。宿正面玄関前での全員揃っての写真撮影の後、路線バスにて「お宮の松」へ。

小春日和のボカボカ陽気。前の晩の酔いざましと腹ごなしを兼ね、お宮の松からサンビーチまでをビーチバレーを見ながらのんびりと直帰組を除き 36 名で散策。親水公園で小休止し、昼食会場へとまた歩き。昼食は、「味の四季和食のハーモニー善作」でまたまたのビール・お酒と和食膳・天麩羅・日本蕎麦とボリュームたっぷり満腹となり皆、大満足。

来年は、古稀を迎える目出度い年なので、関東・静岡合同による S38 年同期一同の旅行を期待しています。

